

南三陸

平成29年

2月号

No.132

2017年2月1日発行

南三陸の自然を見つめ直す

12月18日(日)、戸倉地区においてヨクガンの観察会及び「南三陸の森・里・海とラムサール」と題したシンポジウムが行われました。今回のイベントは、町が現在登録へ向けて取り組んでいる「ラムサール条約」に関連し、南三陸町にある資源の豊かさを再確認しようと考えられたものです。当日の午前中は、毎年冬に志津川湾に100~200羽ほど飛来している国の天然記念物「ヨクガン」の観察会が行われ、参加者は専門家から説明を受けながら双眼鏡や望遠鏡で観察をしました。また、午後にはラムサール条約や志津川湾の生物についての講演や環境関連団体などのポスターセッションが行われ、参加者からは、長年住んでいても知らなかったことがたくさんあったという声が出るなど、改めて南三陸町の自然を見つめ直す機会となりました。